



日進北小だより

平成28年5月2日 5月号 第2号

電話 048 (663) 1842 FAX 048 (663) 9884

<http://nisshinkita-e.saitama-city.ed.jp/>

学校教育目標 ; ○進んで学ぶ子 ○思いやりのある子 ○健康な子

家庭学習

校長 中村 勝光

1年生も元気に登校しています。「校長先生、おはようございます。」と大きな声であいさつをしてくれる1年生もいます。隣の1年生のお友だちに「今のは、校長先生だよ。」と教えてくれるやさしい1年生もいます。

さて、入学や進学でみんな気持ちも新たに新しいことに挑戦しています。児童の学習の様子を見ると、元気な声にやる気を感じます。そのやる気を家庭学習でも発揮してもらい、学習を定着、充実して欲しいものです。家庭学習については、懇談会や家庭訪問等でよく話題になり、昨年度の「学校評価保護者アンケート」の結果においても、「お子さんは、進んで学習に取り組んでいますか（家庭学習）。」の項目で評価があまり良くありませんでした。

その家庭学習には、次のような意義があります。①学校で学習したことを家庭で復習し、定着を図る、②毎日家庭学習を行うことにより、学習する習慣が身につく、③自分で内容を考え、学習することにより、自ら考え、進んで学習する姿勢が身につく、などです。家庭学習を習慣化するには、家庭学習を行う時（例えば、帰宅後すぐ）、時間（宿題＋30分など）、場所（自分の机で等）などを毎日決められたとおりに繰り返すことが大切です。

そして、家庭で何を学習するかですが、まずは、宿題を行います。終わったならば、保護者の方が確認すると子どもの励みになり、今、我が子が何を学習しているかを知る機会にもなります。宿題が終わったならば、次に自主的な学習ですが、何でも子ども自身が「やりたい」と思った学習を行うのもよいでしょう。何も思いつかない場合は、さいたま市教育委員会が作成した「基礎学力定着プログラム」に取り組むのがよいです。これは、学校や家庭で活用し、国語と算数の基礎を身につけるためのものです。下記の要領でインターネットで検索し、印刷できます。

検索サイトに「基礎学力定着プログラム」と入力し、検索する。⇒「さいたま市／基礎学力定着プログラム」の（国語）編か（算数・数学）編の必要な方を開く。⇒必要な学年や単元を開く。

各単元について、「達成目標」などが説明されているので、その単元で何ができるようになればよいかを確認できます。練習問題がありますので、お子さんに取り組みせ、答え合わせができます。すでに学習が終わっているところでも（例えば、去年つまづいた単元など）、改めて学習することができます。ぜひ、ご活用ください。

子どもたちは、「遊びたい」気持ちと同じくらい「勉強しなければいけない」気持ちがあります。この気持ちを大切に、「大いに遊び、大いに学び」たいものです。